



3/22(土)迫力の作品に目を奪われる！

浦添市民体育館において、春の風物詩として定着している「沖展」が3月22日～4月6日まで開催されました。

会場には、絵画・版画・彫刻・グラフィックデザイン・書芸・写真・工芸890点もの作品が展示されました。どの作品にも作者の想いが込められ、美の祭典として、多くの来場者の目を楽しませました。

大盛況で幕を閉じたばかりですが、「来年の開催が待ち遠しい」という声がすでにあがっています。



3/18(火) みどり豊かで明るく住みよいまちに

「浦添市民憲章実践活動作文コンクール」の表彰式が実施され、最優秀賞5人、優秀賞12人の児童が表彰されました。市民憲章は「自然を愛し、みどり豊かなまちをつくる」など5項目から成り、その普及実践と児童の公德心の高揚を目的に、作文コンクールが実施されています。

表彰式では、最優秀賞を受賞した児童が作文を朗読し、市民憲章実践への取組を発表しました。



3/22(土)たくさんの市民が映画に出演！

沖縄国際映画祭IN浦添会場として、てだこホール隣のてだこ広場では、様々なイベントが行われ、市を挙げて映画祭を盛上げました。

映画イベントとして、1月に市内各所で撮影された映画「たま子とチョーチカーの呪文」や、来場者が出演した映画「デルシネ」の舞台挨拶、上映会などがありました。デルシネに出演した観客は、映画の中の自分を見て、恥ずかしながらも満足そうな表情を浮かべていました。



3/21(金) 第2回うらそえ島桑フェア&ミニ浦添物産展

3月21日からメイクマン浦添本店で開かれていた「第2回うらそえ島桑フェア&ミニ浦添物産展」が23日幕を閉じました。

この物産展は、浦添産の桑の葉を使用して特色ある食品を創作し、本市の地域活性化につなげていくことを目的に開催されたものです。浦添の特産品を買い求めに多くの方が会場に足を運び、見て・触れて・食べて！浦添の「いいね！」を体験しました。



3/14(金)充実した大学院生活を卒業

3月14日、中央公民館で創立25周年を迎えた「てだこ学園大学院」の第25回卒業式が行われました。平均年齢67歳の43人は、充実感あふれる晴れやかな表情で卒業証書を受け取り、共に学んだ仲間と喜びを分かち合いました。学院生達は、この2年間、浦添市のまちづくりや世界遺産めぐり、平和学習、世代間交流、グランドゴルフ、運動会など多様な学習を深めました。そしてさらなる生涯学習や地域貢献への意欲を燃やしています。



3/18(火)高見知佳さんによる読み語り

生徒一人一人が豊かな心を育むことを目的に、3月18日「高見知佳さんによる読み読みの会」が、仲西中学校で開催されました。

生徒達は高見知佳さんの読み読みを真剣な表情で聞き、いじめや嫌がらせなどについて考えることができました。改めて自分自身を見つめ直すいい機会となりました。



3/17(月)ピラティス体操知ってますか？

ピラティス体操は普段は使うことのない深部の筋肉を意識し、働かせることによって身体のバランスを整えるエクササイズです。

浦添市では、介護予防としてピラティス体操サークルの立ち上げ支援を行なっています。今回、市内で活動するサークル団体が集まり、健康運動指導士永淵悦子氏を講師に迎え、社会福祉センターで「ピラティス体操合同研修会2014」が開催され、参加者は笑顔で楽しく参加していました。